

第2回がん放射線療法貢献表彰熊谷賞について(お知らせ)

放射線治療研究会は、1986年10月4日に九州大学医学部附属病院臨床小講堂で開催してから、本年で28年になります。ご周知のとおり、放射線治療に携わる診療放射線技師を対象として、「放射線治療の基礎から臨床まで」を標榜し、最新の放射線治療技術の研鑽、治療現場で抱えているさまざまな問題点の検討、ペーシエントケアを踏まえた放射線治療学の向上など、永年にわたり一貫した活動を行ってきました。本研究会は、診療放射線技師の卒業教育や生涯教育の場としても意義が大きく、また、医療人として倫理に立脚した専門技術を習得できる場となっています。こういう状況のもと、多くの診療放射線技師が高度専門技術を習得し、放射線治療の最前線でがん患者の命に貢献しています。そこで、この度、がん放射線療法の分野で患者の診療や品質管理などに地道に貢献されている診療放射線技師を表彰するため、「がん放射線療法貢献表彰熊谷賞」を創設しました。今回は第2回目です。どうぞ、応募して下さいますようお願い申し上げます。

【第2回がん放射線療法貢献表彰熊谷賞 概要】

- 主 催 放射線治療研究会
- 後 援 (社)日本放射線技術学会九州部会、(社)福岡県診療放射線技師会
日本放射線治療専門放射線技師認定機構
- 対 象 1. 診療放射線技師であること。
2. 10年以上にわたりがん患者の放射線療法を行っていること。
3. がん放射線療法に著しく貢献した個人
- 審 査 世話人会が行う
- 表 彰 表彰状
記念品
賞 金 (3万円)
- 応募期間 2014年8月1日(金)～2014年10月31日(金)
- 応 募 応募用紙は、同封の規定の用紙(別紙様式)を使用し、下記宛に郵送すること。
自薦および他薦は問わない。
〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36
広島国際大学 保健医療学部 熊谷孝三 宛(mail:k-kumaga@hs.hirokoku-u.ac.jp)
- 表 彰 式 2014年11月土曜日(未定)の放射線治療研究会
- 注意事項 1. 表彰の対象となるがん放射線療法の貢献とは、放射線治療分野において、永年にわたり患者の放射線治療、接遇と説明、品質保証・品質管理、固定具・補助具の作製、治療計画、照合、線量測定、放射線安全管理などの実践、放射線治療の発展などに寄与することをいう。
2. 日本国内でのがん放射線療法の活動を対象とする。
3. 活動は原則として10年以上の臨床実績があること。
4. 叙勲または褒章(紺綬褒章を除く)を受けた方は、対象としない。
5. 提出書類は返還しない。
6. 被受賞者にのみ11月初旬にその旨を通知する。
7. 2014年度の放射線治療研究会の表彰式に出席可能な者(代理は不可)であること。

以上